

福岡市テニス協会

【設立年月日】1974（昭49）年11月1日

【加盟年月日】1962（昭37）年

【歴代会長】

1963（昭38）年～	瓦 林 潔
1978（昭53）年～	中牟田 喜一郎
1982（昭57）年～	太 田 五 郎
1991（平 3）年～	隈 丸 次 郎
1993（平 5）年～	小 野 治 嗣
2003（平15）年～	岡 野 高 大
2009（平21）年～	松 村 等 彰

【歴代理事長】

1963（昭38）年～	高 田 博
1966（昭41）年～	太 田 五 郎
1982（昭57）年～	畑 瀬 四 郎
1991（平 3）年～	秋 竹 善 枝
2001（平13）年～	鬼 塚 富久美
2004（平16）年～	松 村 等 彰
2009（平21）年～	上和田 茂

【沿革】

九州のテニス（硬式）を統括する機関として日本庭球協会九州支部（現九州テニス協会）が正式に発足したのは1925（大14）年、そして1930（昭5）年、この九州支部のメンバーが中心となって福岡ローンテニス倶楽部（現福岡テニス倶楽部。以下福岡倶楽部と略称）が設立されました。

終戦直後の1946（昭21）年、中牟田喜一郎氏（岩田屋会長）等のご尽力により春日原コート2面を確保することができ、福岡市におけるテニス再開の端緒となりました。

第3回国体の福岡県開催決定に伴い、1947（昭22）年に九州支部と福岡倶楽部が一心同体の形で福岡県庭球協会（現福岡県テニス協会）として県体育協会に加盟しました。

更に1962（昭37）年に福岡市体育協会が設立され、同年福岡倶楽部がこれに加盟しました。

福岡市庭球協会は、1981（昭56）年3月に福岡市テニス協会と改称し今日に及んでいます。

【主な事業】

当協会は、「福岡市に所在するテニス団体の相互連携を密にし、テニスの普及と技術の向上を図るとともに、健全なるスポーツ精神の育成を目的」（会則第2条）として事業を行っていますが、その大部分は底辺拡大といえます。

(1) 博多の森テニス競技場の活用

博多の森テニス競技場は、1990（平2）年の第45回国体（とびうめ国体）のために新設されたものですが、福岡市は、1995（平7）年のユニバーシアード福岡大会で使用するため国際試合の開催が可能となるよう、大改造を行いました。当協会は、これにテニス界の意見、要望を反映させ、活用しております。このコートはユニバの後1996（平8）年から2000（平12）年までアジアジュニアテニス選手権大会の会場として使用されました。その後、2001（平13）年より、世界の若手女子の登竜門としての「福岡国際女子テニス大会」を開催しています。

(2) 市民総合スポーツ大会テニス競技

日頃、競技大会に参加する機会が少ない中級者以下を対象に、1974（昭49）年11月に第1回市民テニス大会を開催し以後毎年実施、1987（昭62）年に題記のように名称を変え、2010（平22）年で通算37回目を迎えました。年々参加者も増え、年齢、技術レベルも多様化して種目が増加したため、現在は博多の森と今津運動公園の2箇所、10月に土曜、日曜を3日間使って実施しており、当協会最大のイベントとなっています。

(3) 915ベテランテニス大会

高齢者の健康増進を目的として1975（昭50）年9月15日に第1回敬老テニス大会を開

催、その後題記のように名称を変更して毎年実施しています。男性60歳以上、女性50歳以上を対象に和気藹々とした雰囲気の中で行われ、年々参加者も増え、現在では150名を超えています。

(4) 全国健康福祉祭大会テニス競技

1988（昭63）年に第1回全国健康福祉祭大会テニス競技が行われ、以後毎年参加しています。2005（平17）は福岡市が開催市となり、決勝リーグベスト8と活躍しました。



2010.10 ねんりんピック石川（金沢市）

(5) 日韓親善テニス大会

テニスを通じての国際親善は、過去1980（昭55）年から1988（昭63）年にかけての豪州との間のもの（都合7回試合を実施）、1996（平8）年のマレーシアのイポー市への選手派遣などがありますが、現在もなお継続しているのは韓国釜山広域市との間の親善試合です。

1989（平成）年に福岡市と釜山広域市（当時は釜山直轄市）の間で行政交流都市の締結が行われ、これに伴って、1991（平3）年に「第1回福岡市・釜山直轄市親善テニス」を博多の森テニス競技場で開催しました。同年11月17日に2回目の大会を釜山市で開催し、以後は毎年1回交互に相手国を訪問して友好親善を深めており、既に21回を数えています。今年までの勝敗は、10勝10敗2分けと接戦となっています。



2010.9 日韓親善大会（釜山広域市）

(6) 福岡市・北九州市対抗試合

両市相互の技術レベルの向上と親善を図るため、1995（平7）年以来毎年交互に両市で開催し、レベルの高いテニスの交流を行っています。今年までの勝敗は6勝8敗2分けです。

【これからの展望】

当協会では、九州テニス協会、福岡県テニス協会の事業のうち福岡市だけに関わる部分、特に底辺拡大を担当することで発足しましたが、2000（平12）年度から会費を定め、グループ登録制をとることとし、会則を改正しました。目下会員は50数団体であります、「マナーとルール」の向上をめざし、市民テニス愛好者のための協会として更に会員数の増大を図っていく所存です。既に、団体リーグ戦やミックスの試合なども好評を得ています。又、テニス協会の充実やジュニアの育成強化にも取り組み、ネットを通じてテニスに関する情報の提供や会員相互の連携強化を図っていききたいと願っています。